

2025 年度 事業報告

総務委員会

1. 2025 年度の児童文化功労賞、児童文芸新人賞の贈呈式を開催し、2026 年度の協会 3 賞（左記 2 賞に日本児童文芸家協会賞を加えたもの）贈呈式の準備をした。
2. 児童文化功労賞の選定のとりまとめを行った。2026 年度受賞者：読書のアニメーション研究会。
3. 協会の事業全般を把握し、各委員会活動への協力と援助を行った。
4. ひろすけ童話賞の連絡業務を行った。
最終選考の結果、すとうあさえ『コンスケとはるのともだち』（のら書店）に決定した。
5. 図書及び保存資料を整理し、寄贈・売却業務を行った。

財務委員会

1. 予算に基づき、協会活動にともなう収支及び資産の管理を行った。
2. 月末の貸借対照表・損益計算書を確認し、収支の動向を理事会に報告した。
3. 期末決算業務と新年度の予算編成を行った。
4. 一般社団法人へ移行した 2011 年より【公益目的支出計画実施報告書】を内閣府へ提出していたが、その報告義務が完了した。

会議委員会

1. 総会、理事会の準備・運営を行った。
2. 協会における会議の準備をした。
3. 総会、理事会の記録をした。

サークル委員会

1. サークル活動への支援を行った。
2. 5 月 21 日に対面でのサークル交流会を実施した。

協会 2 賞委員会

1. 第 50 回日本児童文芸家協会賞の選考準備を行った。
別司芳子『スマイルカットでみんな笑顔に！ 発達障がいの子どもによりそう美容師さん』（佼成出版社）に決定した。
2. 第 55 回児童文芸新人賞の選考準備を行った。
高村有『思いがけず、朝子ちゃん』（童心社）に決定した。
3. 2025 年度の贈呈式において総務委員会に協力した。

日本新薬こども文学賞委員会

1. 第 18 回日本新薬こども文学賞の 1 次・2 次選考を行った。

日本動物児童文学賞委員会

1. 第 37 回日本動物児童文学賞の 1 次選考を行った。

編集委員会

1. 2 か月に一度 Zoom 編集会議を開催し、季刊誌『児童文芸』を年 4 回発行、会員・研究会員ならびに児童書出版社等に配布した。

2. 広報委員会と協力し、『児童文芸』の販路拡大や広告獲得に努めた。
3. 夏号特集「第2回〈投稿大会〉」で会員だけでなく一般からも作品を募集し、優秀作を掲載した。
4. 2026年夏号に掲載する「そよ風コンクール」の作品を募集した。
5. 協会および各委員会主催のイベントの告知や報告を掲載し、協会の活性化に努めた。

広報委員会

1. 協会ホームページおよびSNS(X・Facebook・Instagram)の管理・運営を行い、協会の広報活動に努めた。
2. 各委員会と協力し、コンクール、イベントの告知、報告、及び会員の新刊やお知らせを紹介した。
3. 協会ホームページの会員紹介ページに掲載されている、会員の代表作を更新した(希望者のみ)。
4. 事務局の協力を得て協会各賞のプレスリリースを各マスコミに発行した。
5. 各委員会からの最新のお知らせをまとめた「ニュースレター」を発行した。
6. 理事の活動スケジュールを管理した。

刊行委員会

1. フレーベル館と共同してアンソロジー作品を出版した。
10分後にココロに効くアオハルショートストーリーズ『自分だけの秘密』を出版した。
10分後にココロに効くアオハルショートストーリーズ『気になるあの子』を出版した。
2. 新星出版社より『謎解きホームルーム1』オーディオブックが完成し、配信がスタートした。
3. 70周年記念特別委員会に協力した。

渉外・著作権委員会

1. 出版物貸与権管理センター通常総会・運営委員会・分配委員会、日本著作者団体協議会定例総会、子ども読書推進会議総会などに出席した。
2. 日本童謡協会授賞式、日本児童出版美術家連盟の懇親会に出席した。
3. 協会内外からの著作権に関する問い合わせに対応した。

サロン委員会

1. 会員のスキルアップと出版につなげるためのサロンの企画・運営を行った。
2. 8月29日「地方作家のおしゃべりサロン」をオンラインで開いた。
3. 9月11日、18日「ショートショートサロン」をオンラインで開いた。
4. 10月18日「創作の工夫おしゃべりサロン」をオンラインで開いた。
5. 10月30日「第2回 鈴木出版・月刊絵本『こどものくに』サロン&コンペ <きらめきと手法>」をオンラインで開いた。
6. 11月15日「初心者のためのゆる合評サロン」をオンラインで開いた。
7. 2月21日「針とら氏プロット講座」をオンラインで開いた。

展覧会委員会

1. 6月7日、21日「出発！ おはなし展2026」参加予定作品の合評会をオンラインで開いた。かさいまり氏、野村一秋氏を講師として招き、講評を依頼した。
2. 11月から2月にかけて、国松俊英氏を講師として招き、ノンフィクション講座を5回開催した。
3. 2026年6月開催の「出発！ おはなし展2026」についての打ち合わせと会場の下見を行った。

70周年記念特別委員会

1. 「70周年会員ハンドブック」を発行、会員・研究会員、関係各位に送付した。
2. 70周年イベント(8月20日～26日)を、神保町ブックハウスカフェにて開催した。

2026年度 事業計画

総務委員会

1. 協会3賞（児童文化功労賞、日本児童文芸家協会賞、児童文芸新人賞）贈呈式を開催し、来年度の贈呈式の準備をする。
2. 来年度の児童文化功労賞の選定のとりまとめを行う。
3. 協会の事業全般を把握し、各委員会活動への協力と援助を行う。
4. 講座・童話塾の窓口業務、ひろすけ童話賞の連絡業務を行う。
5. 図書及び保存資料を整理し、寄贈・売却業務を行う。
6. 会員・研究会員向けの小規模な交流会をサロン委員会と協力して開く。

財務委員会

1. 予算に基づき、協会活動にともなう収支及び資産の管理を行う。
2. 月末の貸借対照表・損益計算書を確認し、収支の動向を理事会に報告する。
3. 期末決算業務と新年度の予算編成を行う。

会議委員会

1. 総会（Zoom）、理事会の企画・運営を行う。
2. 協会における会議の準備をする。
3. 総会、理事会の記録をする。

サークル委員会

1. サークル活動への支援を行う。
2. サークル交流会を行う。

協会2賞委員会

1. 第51回日本児童文芸家協会賞の選考準備を行う。
2. 第56回児童文芸新人賞の選考準備を行う。
3. 2026年度の贈呈式において総務委員会に協力する。

日本新薬こども文学賞委員会

1. 第19回日本新薬こども文学賞の1次・2次選考を行う。

日本動物児童文学賞委員会

1. 第38回日本動物児童文学賞の1次選考を行う。

編集委員会

1. 2か月に一度 Zoom 編集会議を開催し、季刊誌『児童文芸』を年4回発行、会員・研究会員ならびに児童書出版社等に配布する。
2. 広報委員会と協力し『児童文芸』の販路拡大や広告獲得に努める。
3. 夏号特集「第3回〈投稿大会〉」で会員だけでなく一般からも作品を募集し、優秀作を掲載する。
4. 同じく夏号で「そよ風コンクール」優秀作を掲載し、来年度の募集も行う。
5. 協会および各委員会主催のイベントの告知や報告を掲載し、協会の活性化に努める。
6. 2027年度からの『児童文芸』電子書籍化に向け、準備を行う。

広報委員会

1. 協会ホームページおよびSNS (X・Facebook・Instagram) の管理・運営を行い、協会の広報活動に努める。
2. 各委員会と協力し、コンクール、イベントの告知、報告、及び会員の新刊やお知らせを紹介する。
3. 協会ホームページの会員紹介ページに掲載されている、会員の代表作を更新する（希望者のみ）。
4. 事務局の協力を得て協会各賞のプレスリリースを各マスコミに発行する。
5. 各委員会からの最新のお知らせをまとめた「ニュースレター」を発行する。
6. 理事の活動スケジュールを管理する。

刊行委員会

1. 現在進行中のアンソロジー（高橋書店、新星出版社）を継続して制作し、出版を目指す。
2. ひろく出版社に企画を提案し新たな刊行を目指す。
3. 編集委員会と連携して会員の刊行につなげる。

渉外・著作権委員会

1. 日本著作者団体協議会定例総会、子ども読書推進会議総会などに出席する。
2. 関連団体や関連機関の授賞式、懇親会などに出席する。
3. 協会内からの著作権に関する問い合わせに対応する。

サロン委員会

1. 会員からのサロンの要望を受け、運営をサポートする。
2. 会員のスキルアップと出版につなげるためのサロンの企画・運営を行う。

展覧会委員会

1. 「出発！ おはなし展 2026」の開催に向けて準備する。
2. 6月1日から8日、神保町ブックハウスカフェで「出発！ おはなし展 2026」を開催する。
3. 2027年開催予定の「オンライン合評会」について話し合う。